

人と都市・観光の地球時代を、市民が支えます！

NPO法人

JAPAN NOW

観光情報協会

Non-Profit Organization JAPAN NOW TOURISM INFORMATION ASSOCIATION

東京都知事が認証した「都市・環境・観光NPO」が発信する隔月刊情報紙

第76号 発行日2011年03月25日

Contents

通常総会	1
仙台での講演内容	2
霞が関ニュース	3
アメリカこぼれ話	4
食にまつわるエピソード	5
城下町と観光、NEW SPOT	6
NPOからの提案、イタリア通信	7
お天気の話、編集後記	8



(山梨リニア実験線でのリニアカー JR東海提供)

「東北地方地震」の被害にあわれました皆様へ心よりお見舞い申し上げます。

適確な観光情報の発信、提供が重要

誤解招く地震の名称 須田副理事長

「東北地方太平洋沖地震」は東北沿岸各地等に甚大な被害をもたらした。被災された皆様方に謹んでお見舞いを申し上げたいと思う。

今次の災害は「観光」にとっても大打撃をもたらした。特に直接の被害のほか、いわゆる風評被害の影響も大きい。

地震の名前ひとつとってみても、マスコミ各社によって「東北関東大震災」「東日本巨大地震」等まちまちの命名がなされている。前者の場合は大正の関東大震災で大被害を受けた静岡県や北西関東地域等が、今回は被害が少ないにもかかわらず、被災地域のように誤解され、入込客が激減している。また後者の場合は中部以東は東日本だと考えられている人も多く、愛知、岐阜県等でも観光客のキャンセルが相次いでいる。中国、台湾等外国では「中部」日本という概念がないため、中部地方は東日本と同じ被災地とみられ、外国人客のキャンセルが続出している。しかも日本列島全体が放射能に汚染されているやに誤解するむきさえも外国では多いと聞く。これに追い打ちをかけるように災害を機とする行き過ぎた自粛ムードから、各地の観光行事の中止延期が続出しており、観光（産業）はまさに大試練のさなかにあるといっても過言ではない。「観光」にとって適確な情報発信が今、如何に大切かが痛感させら

れる。また「観光」は単なる遊びではなく人間の本能に根差した文化活動であり、地域にとって重要な経済活動であると考えるとき、このような厳しい時期にあればこそ被災のない地域での観光活動はこれまで以上に進められなければならないと思う。

この面からも観光の意味と役割を多くの人々に理解してもらうための啓蒙活動すなわち情報発信が急務だと考えられる。適確な観光（地）情報の提供が今後の日本経済の建て直しの出発点であるといっても過言ではない。観光情報協会もこのような時にこそ、その力を発揮し、その名にふさわしい活動を展開していきたいものと思う。

5月18日にJN協会通常総会を開催

平成23年度事業計画、予算など審議

JAPAN NOW観光情報協会は、5月18日午後3時から千代田区の海事センターで平成23年度の第10回通常総会を開き、22年度事業報告、決算案、23年度事業計画、予算案などを審議する。これに先立ち、3月30日には海事センターで定例理事会を開き、総会に提案する議案を審議する。総会では、国土交通省の久保鉄道局長が講師として出席し、整備新幹線の建設状況、リニア中央新幹線の東京・名古屋間の実用化や新幹線の海外への輸出について講演する。総会のあと懇親会を開く。

東北・道南あわせた広域観光の形成

須田 J R 東海相談役 新幹線全通で提言



J R 東海の須田相談役は、3月9日仙台での講演会で「観光と東北新幹線の全通とその後」をテーマに講演し、東北と道南をあわせた広域観光圏の形成が不可欠との提言を行った。須田氏は「東北新幹線が、昨年

12月に東京・新青森間が全通したが、これは観光需要の増大、観光構造の変化をもたらす新しいまちづくりを促進する大きな動機になる」と指摘。そのうえで「新しく開通した地域である青森以北のまちづくりの展開や2次交通の整備、周辺観光地間のネットワークの形成が必要。また既開通地域の八戸以南では観光価値の向上、つまり通過地としない、新開通地域からの新しい観光客の受け入れに取り組むことが重要である」と述べた。

観光への期待として「日本の直面する課題である人口減少社会への対応、つまり交流人口の増加や国際交流の拡大が期待される。地域の直面する課題解決のためには、基幹産業の観光振興によって地域社会の活性化や観光の文化的・経済的効果が実現するよう、対応すべきである」と語った。

東京・岡山は1時間短縮し2時間で結ぶ

白澤 J N 協会事務局長 リニア講演で指摘

J N 協会の白澤事務局長は「リニア中央新幹線の実用化」をテーマに講演し「2027年にリニア中央新幹線が東京・名古屋間で実用化されると、東京・名古屋間はリニアに乗り換え、名古屋で東海道新幹線に乗り換えて岡山まで行く場合、これまでより1時間ほど短縮されて2時間で結ばれる。これは名古屋駅での乗り換え時間15分を見込んでおり、移動時間の短縮に効果的」と説明した。また「J R 東海が山梨リニア実験線で行っている超電導型リニアの実用化テストは、すでに延べ80万キロを超えている。超電導型リニアは、車両と車両の間の接続台車に液体ヘリウムを搭載しており、車両側にある超電導コイルをマイナス269度まで冷却すると、超電導状態となる。U字型のガイドウェイの左右両側にある浮上・推進・走行コイルとの間で吸引・反発力が生じてリニアは10センチの浮上走行となる」と述べた。

さらに「リニア中央新幹線の建設費は東京・名古屋間が5兆1000億円（用地買収費も含む）、東京・大阪間全線で見ると8兆4400億円となるが、J R 東海はその全額を自己資金で賄う方針」と指摘。リニア建設に伴う便益と経済波及効果について「建設による直接効果と間接効果がある。直接効果は利用者の時間便益効果大きい。東京・名古屋間の所要時間は約45分、東京・大阪間は65分となり、利用者が約2時間の時間短縮となった場合の年間時間便益（節約効果）は金額にして約3000億円となる。情報アクセス効果も向上し、新聞やテレビなどの加工された

情報でなく、専門家による生の情報を入手する機会が増える。全体の経済波及効果は15兆円から20兆円が見込まれる」と語った。

このほか「超電導技術の応用分野は電力、エネルギー、医療など幅が広い。超電導磁石の特徴は強い磁場発生が可能、安定性のよい磁場が得られる、軽量化が可能、少ない電力消費ですむ、永久電流の利用が可能である。エネルギー分野での応用例は電導発電、超電導電力貯蔵などがあげられる」と述べた。

東北巨大地震の海外救助隊の通訳を

通訳案内士団体がボランティア活動

観光庁は3月17日、「東北地方太平洋沖地震」に関連し、通訳案内士15団体がアメリカ、韓国、ドイツなど海外から派遣された救助隊や訪日外国人旅行者のため通訳ボランティアとして活動する用意がある旨、連絡があったと発表した。ボランティア活動の内容は、海外から派遣された救助隊や医療従事者が被災地において円滑に業務を実施するため、通訳案内士を派遣する、全国の空港や観光案内所、メディアセンターなどにおける被災地情報提供のため通訳案内士を派遣する、各団体が連携して協力体制を整備する、となっている。

若者の旅行離れ原因を検討し対応策

観光庁が若者旅行振興研究会を開く

観光庁は2月14日、平成21年度の観光白書でも指摘された若者の旅行離れの原因を検討し対応策を具体化するため、第2回若者旅行振興研究会を開き、若者の旅行振興に向けた具体策を協議した。この研究会は大学、民間企業、行政、観光団体の関係者で構成されており、若者の旅行振興策のテーマとしてボランティア・社会貢献活動、産業観光、「キャラクター」の活用、大学生による旅行商品の造成などが挙げられている。産業観光では、京都や横須賀を舞台に観光資源として捉えられる機会が少なかった産業遺産や先端工場・関連ミュージアムなどを訪れるモニターツアーを造成して販売し、その再利用意向を調査、分析する。

また、大学生による旅行商品の造成では、「旅プロデュース部」の大学生12名により既存の旅行商品から若者向けの旅行を選び、大学生が選んだ若者向け旅行商品として販売する。ボランティア・社会貢献活動では「自治体イベントスタッフ」、「雪かき」、「自然環境保護」などの社会貢献活動旅行をテーマにモニターツアーを販売する。

[会員募集]

都市の再生、観光振興、環境保全の市民活動に賛同する会員を募集しています。

個人会員(1口5千円)、団体会員(1口5万円)

東京都渋谷区代々木1-58-13小田急代々木ビル3階

JAPAN NOW観光情報協会(電話03-5304-9500)

東京
震が関発の最新情報
国土交通省・総務省・財務省

温泉イノベーションで産業興しをして
観光振興に結び付けたい
観光立国を支える人たち

熱海市長 齊藤栄氏(さいとう・さかえ)



東京都品川区出身。85年東京工業大工学部土木工学科卒。88年大学院修士課程終了後、国土庁入庁。大都市圏整備局計画課主査、土地局国土調査課専門調査員などを経て退庁。01年1月慈慶学園（本部東京）勤務。04年2月岩国哲人衆院議員政策担当秘書などを経て、06年9月に熱海市長就任。現在2期目。47歳。

—熱海とはまったく関係ない東京・品川生まれでありながら熱海の市長になったのはどん成り行きですか？

私は技術系で国土庁に入って大都市圏の計画課などで勤めているうちに、地方の首長になりたいと思っていました。縁があって熱海の市長になりましたが仕事は面白いですね。市長になって感じるのは熱海はいろいろな観光資源がありながら、市民の人がそれに気がつかないことです。私の名刺に「あたみ桜」の写真を載せているんですが、知っている人は少ない。1月に梅と一緒に咲くんです。それは見事なもんです。もみじも梅園にあり素晴らしいです。東京で経済人20人の会で聞いたところ「河津桜」は知っている人が多いのに「あたみ桜」は誰も知らなかったですね。こうした資源があるのに外に打って出ないのが問題です。意識改革が必要だと思います。

— 2期目になりこれから観光にどのように取り組んでいきますか？

熱海市観光協会、市民、職員の意識を変えることが必要だと訴えています。観光地としての「おもてなしの心」が大事です。ところが昔の良い時代の思い出があるために変えようとしません。外から来た私ができるのはそうした考えを変えさせることです。旅館などの観光業者はいかに観光客に金を落とさせる事を考えています。そうではなく今は金を落とさなくても将来、客としてきて落としてくれる事を考えなくてははいけません。市民の人に熱海について知ってもらおうと「熱海検定」を始めました。私も妻と受けましたが前の晩勉強して受かりました。合格率は9%ですから、かなり難しい試験でしたよ。

—温泉イノベーションを唱えて経済の活性化を目指していますが、具体的にどのような事をしますか？

温泉を核にして市にある資源を行政、企業・団体、大学・研究機関との連携で地域活性化を目指すものです。進行中のプロジェクトとしては慶応大学環境情報学部の武藤佳恭教授が中心になっている温泉熱を利用した低温度発電システムがあります。市内にある旅館の日航亭でこれで発電した電力で10年12月13日からクリスマスツリー2本を飾りました。LED電球100個を付けています。このほか熱海の温泉水と丹那トンネルの湧水を組み合わせた飲料水を開発しています。こうしたイノベーションにより産業興しをして観光に結び付けたいですね。後は海外から学会を招いて、熱海のよさを宣伝したいと思っています。（聞き手は経済ジャーナリストの阿部和義）

バスケットを日本一に！

ケイジャー準備事務局
事務局長 今井智康
JN協会会員

東北地方太平洋沖地震被災の皆様に、謹んでお見舞いを申し上げます。ご縁で「バスケットを日本一に！」を掲げる準備事務局に携わることになりました。

バスケットボール(以下、バスケット)といえば、サッカーと並ぶ世界のメジャースポーツです。国内でも野球、サッカーに続く3番目の競技人口を有しています。TVで人気のバレーボールよりも約1.5倍も多いのです。スポーツ競技者の多くはリタイア後に当該競技のファンへと移行します。競技者が多くファン層の厚いバスケットは日本の新しいメジャースポーツとなる土壌がすでに整っていると言えます。

しかし、バスケットはサッカーのようなムーブメントを起こしてはいません。幾つかの理由の中で「あまりに少ない情報」が挙げられています。昨年開催された世界選手権大会(サッカーならWカップ)で、日本女子が世界の得点王とアシスト王にそれぞれ輝きました。ところが、そんな快挙ですら日本で報道されることはありませんでした。Facebookを語るまでもなく情報は人を集め、動かします。Jリーグ成功の一端は大量の露出(情報)を集中させた所にあります。世界の得点王の存在すら伝わらない日本で、バスケットファンの応援は行き場を失っています。

抑えられたパワーが解放された時、3.3兆円と言われるスポーツ市場が更に大きく成長することは必至です。バスケットを語る店、バスケットのチームがある町。バスケットを訪ねる旅、そして交流。情報を手にしたバスケットファンはその数と思いを背景に、大きなムーブメントを起こすことでしょう。ファンとバスケットが動き出せる新しいスタイルの情報と仕組み。間もなく「ケイジャー」(<http://cager.jp>)からお届けいたします。

会員の投稿を歓迎します 情報紙の充実を目指して！！

観光情報紙2011年5月号への個人、団体会員の投稿を歓迎します(400～500文字程度)。皆様のご意見を、どしどしお寄せ下さい。詳細は事務局まで。

発行は2011年5月25日。締め切りは2011年5月10日。

アメリカ・こぼれ話 ⑫

「ホワイトハウスは灰色だった」

JN協会理事 北村 嵩

大統領官邸を“ホワイトハウス”と呼ぶのはなぜだろうか。イギリスからの独立を勝ち取った後、初代大統領ジョージ・ワシントンはニューヨークで就任し、その後はフィラデルフィアを仮の首都として国家の建設を始めると共に、新しい首都を建設することにした。1790年に連邦議会は新しい首都の場所を現在の場所に定め、ワシントンとコロンブスの業績を称えて、名前を「ワシントン・ディストリクト・オブ・コロンビア」に決定した。新首都建設委員会はフランス人技師のピエール・ランファン少佐が中心となって進められたが、ベンジャミン・バネカーという自由黒人の自然科学者がメンバーに参加していた。この当時の黒人が置かれていた状況を考えると画期的なことであった。街の建設工事が進み、大統領府も1792年より建設を始めたが完成するまでに時間がかかり、初代ワシントン大統領は2期8年の在任期間中はついにこの新大統領府に住むことはなかった。1800年6月に第2代目大統領ジョン・アダムスが建設途中のワシントンに遷都し、同年の10月に完成したこの「大統領官邸」に移り住んだ。

当時、この建造物は外壁が灰色をしており、「President's House」又は「Executive Residence」と呼ばれていた。1812年に起こった米英戦争でワシントンがイギリス軍に占拠されたときに、この建物も焼き討ちにあい、石積みの外壁を残してすべて焼け落ち、煤煙で醜い状況になってしまっ

た。焼け焦げた外壁を使ってほぼ元通りに修復した際に、焼けた汚れが目立たぬように大統領官邸の外壁を白く塗って統一したので、修理の完成した1817年以降、現在のように「ホワイトハウス」と呼ばれるようになったのである。現在でも焼け焦げた壁の一部は残っており、見学することが出来る。尚、この1812年の米英戦争により、アメリカは政治的、経済的にイギリスから離れて自立してゆくことになった。

ベニスの夏の日

小田急電鉄㈱顧問 利光國夫
(元小田急グループCEO)

私は学生時代大の映画ファン（それも主として洋画）だった。その頃は映画を通じて外国の風物を観ていたが、現在のように自分が自由にその地を訪れる事が出来る時代が来るとは思わなかった。

外国の観光地を舞台にした映画は数々あったが、何といってもパリ、ローマ、ニューヨーク、ロンドンなどが多いだろう。私が外国映画を観るようになったのは中学生の頃からだが、初めは西部劇が中心だった。ジョン・フォード監督の西部劇の舞台に何度も使われたモニュメントバレーなどは以前から是非行ってみたいと思っていたが、残念ながら今日までその機会が無く齢73歳ともなると果たしてこれからその機会があるかどうかいささか心残りである。それでも上記の都市は全部行く事が出来たのは幸運だった。

パリはフランス映画の舞台に何度もなっているのは当然だが、アメリカ映画でもラブロマンスやミュージカルで数多く目を楽しませてくれた。永遠の都と言われるローマの観光と言えば、先ず「ローマの休日」だろう。オードリー・ヘプバーンの初々しい美しさに接した時の感動は、今でも鮮烈に覚えている。同じヘプバーンでも大先輩のキャサリン・ヘプバーンが主演した「旅情」の舞台である水の都ベニスに妻と訪れたのは、もう10年も前になるが、その魅力は私が訪れた海外の観光地の中でもベストワンに近いと言っても良いだろう。

ヘプバーン演じるアメリカのオールドミスOLが夏休みに一人でベニスを訪れるのだが、当時の日本人の感覚ではOLが一人で海外旅行に行けるという事自体が驚きだった。彼女はベニスに到着して街を見物して回るが、多くの観光客の中で孤独感が漂っている。

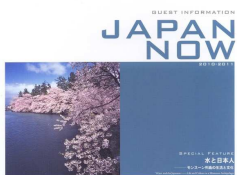
運河を行き交うゴンドラを眺めている時に誤って運河の中に転落してしまうシーンでは、実際にヘプバーンが現地ロケで演じたのだが、運河の水は随分と濁っていて大変だったろうと思ったが、彼女の自伝を読むとやはり目を傷めたそうである。

彼女はふとしたことから観光客相手に物売りをしている少年と親しくなるが、その少年に連れられてベネチアングラスの店に行き、店主のロッサノ・ブラッティーと知り合う。二人が再会する聖マルコ広場では、妻は「あんな素敵な男性は一人もいないわね」と不満そうだったが、私はジーナ・ロロブリジーダ（古いな〜）のような女性がいるかと見回したもののこれもないかった。映画ではそれからいろいろあって結局二人が愛し合うことになるが、画面では床に脱ぎ捨てられたヘプバーンの靴を写すことでそれを暗示している（あの頃の映画は品がよかった）。

日本唯一のホテル客室常備文化情報誌

JAPAN NOW

1985年の創刊以来、内外の多くのお客様にご愛読いただいていた「JAPAN NOW」誌は、日英全文対訳で学校教材としてもますます高く評価されています。



4月に完成した2010-2011年度版は、日本全国のホテル約100館、55000の客室に常備されています。

日本文化の再発見を通じて新たな観光資源を紹介し、現代日本を代表する執筆者やカメラマンたちによって日本の歴史といまを生き生きと伝えることが、「JAPAN NOW」誌の編集方針です。

2010-2011年度版では、環境をテーマとした特集において「水」を中心に育まれてきた日本の暮らしのなかの伝統的な環境保全技術や自然とのかかわりを取り上げ、その将来への応用の可能性を探りました。また、巻頭インタビュー・ページでは、インテリアデザイナーの内田繁氏と女優の緒川たまき氏にご登場いただいています。

1部2000円（送料別）で購入できます。

お問い合わせは（株）ジャパン・ナウへ。

電話 03-5155-8940-1751/FAX 03-5155-8941

食にまつわるエピソード

チキンの食べ方

筑波学院大学教授 大島慎子

学生時代、アメリカの友人宅でドラムスティック チキンが出た。骨付きのもも肉である。その家ではナイフとフォークできれいにさばき、チキンの骨のまわりに全く肉が残らないように、軟骨の周りもきれいに平らげていた。まるで日本人の食卓で、お頭つきの塩焼き魚を食べるときに、上品な箸使いが求められるような光景であった。バーベキューなど屋外でドラムスティックを手づかみで食べるときも、軟骨の周りに肉を残すのは邪道と聞いた。後年、これはアメリカの黒人に多い習慣であると知った。ヨーロッパではチキンの丸焼きがすでにあり、この料理法はスコットランドからの移民によって、アメリカ大陸の南部に広まった。当時、召使として働いていた黒人奴隷はこの料理法を覚えたが、高い肉は使えないため、ドラムスティックに独特のスパイスで下味をつけ、揚げるようになったそうである。アメリカでは Southern Fried Chicken という呼び方をすることがある。ケンタッキー フライドチキンの「カーネルおじさん」がステレオタイプの南部の紳士の服装をしているのも、もとは南部料理だからだろう。



上：漆鶏（オッタク）
下：シンガポールのチキンライス

ドイツで驚くのは、レストランで書かれているメ

ニューに、チキンは、一羽まるごとか、一羽の半分という表現がつかわれていることだ。日本人のように手羽先などで満足しない。

チキンライスは、我々のイメージではタマネギ、卵、チキン、の細かくきったものが混ざっているものであるが、アジア諸国では趣が異なる。シンガポールの名物料理とも言えるべき Chicken Rice（海南鶏飯）は鶏肉の胸肉やもも肉に、漬けダレにはチリ（赤）、しょうが（白）、ダークソース（黒）の三種類をそろえる。ライスの上に、鶏の酒蒸しのようなものが載っており、このチキンとライスと各種ソースを好みで混ぜ合わせて食べる。

さて、最近日本でも健康食として流行の兆しがある韓国の参鶏湯（サムゲタン）。これは生後数十日の若鶏の頭と内臓をぬいて、もち米、栗、ナツメ、朝鮮人参などをつめて、長時間煮込んだもので夏バテ防止に良いとされる。昨年、ソウルで不思議な鶏料理、漆鶏（オッタク）を試した。字の通りウルシを塗った鶏である。実は帰国後に、ウルシかぶれの症状がでて皮膚科のお世話になった。医者は、「山歩きなどでウルシに触れませんでしたか？」と聞かれた。私は「食べました」とは言わなかった。

C O L U M N

単数と複数

中学生になって英語の授業で初めて「単数」と「複数」に出会った時、頭の中は濁流が流れ込んだかのように混乱した。それまで「単数」と「複数」なんて想像だになく、意識せずとも普段の生活で不自由を感じることはなかったからだ。授業では普通名詞はすべて単・複数の違いを意識させられ、おまけにそれらが動詞にまで影響をもたらすとは、日本的伝統文化の中に「曖昧さ」を内包する国土に育った少年にとっては一大事だったのである。

昭和25年プロ野球が2リーグに分れ、新たに「広島カープ」が誕生した。「カープ」という言葉が単・複数同じだということも知らず、なぜ広島だけが「カープス」ではないのか、小学生だった少年には不思議でならなかった。

その後「近鉄バファローズ」が、短い期間だったが「近鉄バファロー」とニックネームを変えていた時期があった。英語の母国でも現代日本の「地デジ」「コンビニ」流に、言葉の短縮化や省略化が流行したのかと思いきや、なんと単にスペルが長過ぎるとの無神経な経営者の思いつきだけで、野生動物の群れをたった一頭の絶滅危惧種にしてしまったのである。

「ピンクレディー」が全盛期にアメリカ公演を行った。可愛くて少々お色気のある彼女らのステージは、アメリカでもそこそこの評判を呼んだ。その時アメリカの芸能記者の間では、2人の少女が一緒に歌うグループなのに、なぜ名前が複数の「ピンクレディーズ」ではないのかとの素朴な疑問があった。文法的に単・複数の区別を厳しく教え込まれて育った彼らには、2人で一人前の名前「ピンクレディー」は、まさに晴天の霹靂だったに違いない。

その一方で、近年になって3人の男性プレーヤーが頭からブルーの衣装を身につけ、鉄パイプのような楽器を使って演奏するトリッキーなグループが時々テレビに登場するようになった。その名を「ブルーマン」グループという。英語本場のアメリカからやって来た彼らのグループ名が、複数の「ブルーメン」ではなく、なぜ単数の「ブルーマン」なのか、その理由が未だによく分からない。（近藤 節夫）

城下町と観光 ⑱

犬山城

木曽川に面して聳える国宝の天守閣

春には桜が咲き、明治村も賑わう

J N協会参与 長宗我部 友親

木曽川を見下ろす格好の天守閣の周りには桜が植えられていて、花の咲く季節は花見客で賑わう。

犬山城は、管領であった斯波義郷が文明元年（1469年）に、家臣の織田広近に命じて、美濃の斎藤氏に対する構えとして、創建した木ノ下城が、その基となる。



犬山城

その後、文禄4年（1595年）に石川貞清が犬山城に入ったが、その子の光吉のときに起こった関ヶ原の戦いに、石田三成側についた

ため、石川氏は除封となった。

そして、その石川氏の後には、清洲城主であった松平忠吉の付家老（つけがろう）の小笠原吉次が2万7千石で入った。

しかし、松平忠吉が没すると、吉次は下総の佐倉に移され、尾張国名古屋藩主徳川義直の付家老の平岩親吉が犬山城に入る。このように犬山城は、付家老が守ってゆく城として江戸時代も長くその形が続いた。



木曽川

犬山藩が正式に立藩されたのは慶応4年（1868年）、大政が奉還され、新政府が誕生した後であったが、晴れて犬山藩は犬山城に藩庁を開き成瀬正肥（なるせ・まさみつ）を藩主とした。

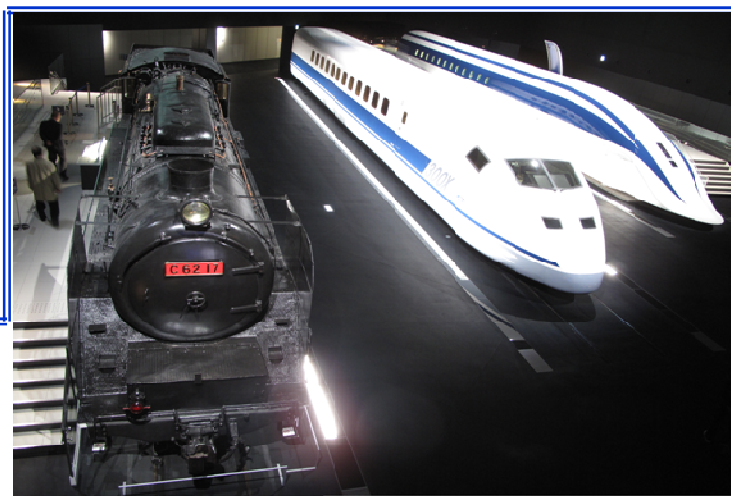
だが、成瀬正肥は翌明治2年（1869年）には藩籍奉還を願い出て、犬山藩主の地位を降りた。

犬山城は、外観三層、天守閣は望楼様式である。高さは24メートル。天守閣は国宝に指定されている。

荻生徂徠が木曽川沿いの丘の上に聳え建つ犬山城の姿を見て、この城を、「白帝城」と命名したと言われる。これは長江流域の丘上にある白帝城を詠った李白の詩にちなんでのもの。

犬山城のある丘陵の中腹には針綱神社があり、祭礼の日には山車が出て、からくりも見られる。

また、犬山市内の入鹿池に面した丘陵には、明治村が造られて、観光客を呼んでいる。



左から世界最速記録のSL、新幹線試験車、超電導リニア

NEW SPOT

in japan 25

リニア・鉄道館

鉄道の車両や歴史を展示する「リニア・鉄道館」が3月14日、名古屋にオープンした。リニア新幹線を推進するJR東海の直轄で、JR東日本の鉄道博物館（埼玉・大宮）と並び東西にファン必見の大型施設が出そろった。

高速技術の歩みを主題に、世界最速を記録した3両がエントランスに並ぶ。特急「つばめ」「はと」で活躍したC62蒸気機関車は1954年に狭軌で時速129^{キロメートル}を記録、新幹線300X試験車は96年に電車で443^{キロメートル}、超電導リニアMLX01-1は2003年に581^{キロメートル}を出した。主会場は世界初の210^{キロメートル}で営業運転した0系新幹線など実物39両がずらり。2階はリニア浮上や走行技術の展示室だ。

目玉は国内最大級のH0ゲージの鉄道ジオラマ。東海道新幹線をイメージし、中央の名古屋駅の左右に

スカイツリー、富士山、京都など沿線風景を描く。隣室の新幹線シミュレーターは曲面スクリーンを見ながら超快速を運転体験する。在来線も8つの運転席があり、車掌シミュレーターは乗降ドア開閉、車内放送など気分満点だ。操作に3段階の難易度を設定できる。

名古屋駅から第三セクター・あおなみ線で24分、終点の金城ふ頭から徒歩2分。大人1,000円小中高生500円、火曜休み。大型の鉄道ジオラマは3月1日、京都・嵯峨野観光鉄道トロッコ列車駅横にもオープン。H0ゲージ8路線8編成の操作で大いに楽しめる。大人500円小学生300円、水曜休み。

（文・写真 林 莊祐）

市長の観光政策実践論

—TPP、食の安全と観光—

JN協会理事 加賀市長 寺前秀一

加賀市議会においてもTPPに慎重な姿勢を示す決議文が採択されましたが、全国的には商工会議所等の意向も尊重する議会もあるようです。日本農業の保護根拠はカロリーベースの食料自給率に求められますが、加賀市の農業では「鴨米」「娘娘野菜」といった価格重視のブランド化指向のものもあります。その価格ベースでの我が国の自給率は65%をこえています。カロリーベースの自給率を上げたいのであれば、国産の野菜を勧めても無意味で、小麦や飼料の生産を勧めることとなりますが、日本の農業を窮地に追い遣るだけといわれています。1993-94年の米不足時、日本で餓死者が出なかったのは輸入のおかげで、このときの教訓は「国産品にだけ頼っているのは危ない」ということのようにでした。日本の食糧は小麦や飼料、大豆を中心にアメリカ依存が大きいようですが、他国よりはアメリカに依存するほうが安全保障上の問題は相対的に少ないとも考えられます。

観光地での地産地消も議会で論議されます。地元の野菜を道の駅や鉄道駅前の朝市等で販売するアイデアが、観光と農業の一石二鳥の解決策としてだされます。しかし、地産地消が進まない大きな原因は価格に占める流通経費の大きさの問題と認識されています。流通経費を削減しようとするれば地域の弱小青果場を廃止に追い込むことになります。

日本農業の維持問題は後継者確保問題です。加賀

市でも7割以上の農業従事者は60歳を超えていますし、血のつながりのある後継者確保は事実上無理でしょうから、社会的な後継者確保を真剣に考えざるを得ないでしょう。人口減少により土地神話も崩壊していますから、農地の含み資産としての価値もなくなっていますから、神門善久氏の言う「偽装農家」もなくなるでしょう。

毒入り餃子事件で中国製品の安全が問題になりましたが、実態は中国の輸出検査のほうが、日本の国内検査よりレベルが高いようです。「事故米」騒動も、マスコミが作ったもので、人体に害がなかったことは理解されていませんでした。日本で我々が通常食べている米には、もっと多くの農薬が含まれている可能性があるそうです(『「中国なし」で生活できるか』丸川知雄PHP研究所)。また眞鍋昇東京大学・農学生命科学研究科教授によれば、農薬基準が厳しいこの時代、有機農法の野菜のほうが基準外にあるところから、危険である可能性も指摘されています。日本の土には過去に使われた農薬が土にしみ込んでしまっており、輸入農産物は危ないが自分で作れば安心だというのはまったくの幻想だそうです。むしろ、常に厳しい検査を受けなければならない輸入農産物のほうが、残留農薬検査を受ける機会すらない自家製の野菜よりも安全性が高いのだそうです。

地産地消、無農薬野菜が地域おこしで提案されています。話題を求めるものが観光行動であるとすれば当然の活動ですが、学問や政策としてエコツーリズム、グリーンツーリズムを標榜するには、冷静な判断と分析が求められます。

イタリア通信 ~その19~

今回の震災とイタリアの報道

「民族の力」

2011年東北関東大震災の犠牲者の方々、被災地、及び被害にあわれた方には心からお見舞い申し上げます。また日本の皆様のご無事を心よりお祈り申し上げます。

イタリア時間の3月11日(金曜)の朝、日本の大地震発生のニュースを国営放送RAI定時ニュースで知りました。それ以来、ほぼ終日、イタリアでも日本からの地震・津波・福島原発に関する報道が続いています。日本から遠く離れたミラノに住む者にとっては、日本の動向、今後どんなことになるのか、心配や不安はつのるばかりです。

地震発生の翌日12日(土曜)のイタリアの新聞はどれも一面が日本の地震の記事で埋まりました。まだ、その後の進展や全体像が掴めない時点でしたが、主要日刊新聞、コッリエーレ・デッラ・セーラ(Corriere della Sera)の一面トップ記事を読んで、強い感銘を受けました。タイトルは「民族の力」。

「未曾有の大地震・津波に襲われた日本、しかし、長年の地震対策、そして人々の落ち着いた対応で日本はこの厳しい出来事に対応している。日本の経験から学ぶことは非常に大きい。天命へ刃向うのではなく、最悪の場合に対する備えをしつつ、しかも、国の成長を諦めない。

日本では度重なる地震発生ゆえに真剣に地震に対応する準備体制を築いてきた。厳しい耐震設計により構築された都市構造。日ごろからの人々の地震への備え。同じレベルの地震がやはり地震国イタリアでおこったら、百万の人々の命を失っていたと専門家はいつている。日本人の強靱な意志。大惨事に国民一体となって対応している日本人。そこからイタリアが学ぶことは大きい」

同紙にはもう一つ、日本の早稲田大学準教授で、ヨシモトバナナなど日本文学のイタリアへの紹介者としても知られるアレッサンドロ・ジェレヴィーニ氏の長い記事も掲載されていました。その中で同氏は「今回の新たな震災はこれまでの日本のあらゆるマニュアルや準備演習、そしてシミュレーションが厳しい試練に会うだろうが、必ずや今回も、日本人は、過去においても成し遂げてきたように、より強くなって、胸を張ってこの危機を乗り越えることができることを確信している」と結んでいます。



イタリアの識者の人々の日本のシステムや日本人に対する高い評価と信頼は、不幸な出来事の中ではありますが、それを有難く思うと同時に、本当にこの厳しい試練を日本が乗り越えられることを願っています。

開花と満開

満開の桜のもとでのお花見が心待ちにされる季節です。この時期気象庁や気象台では桜が開花した、あるいは満開になったと発表しますが、その定義は定められています。目安はどういったものなのでしょう？

開花、満開を観測する木は決められています。これは「標本木（ひょうほんぼく）」と呼ばれるもので、毎年同じ木で観測します。

「開花」は標本木の花が5から6輪咲き始めた状態です。最初の1輪が咲いたら開花では？と思いますが、1輪だけではたまたま咲いたということもあるため、5から6輪という基準になっています。次々と花が咲いて、8割以上の花が咲いた時が「満開」で



す。

気象台では春の梅やつつじ、夏のあじさい、秋のすすきなど多くの花や木などの開花を観測しています。満開を観

測しているのは桜だけです。

お花見スポットの木と標本木とは違いがありますが、気象台からの花の便りも参考に、お花見の予定を立ててみてはいかがでしょうか？

日本気象協会 金野 雅之

会員名簿

(敬称略) (個人会員名簿は公開していません)

名誉顧問	： 松山善三(映画監督)
理事長	： 松尾道彦(日本海事センター会長、元日本鉄道建設公団総裁)
顧問	： 丹羽辰(前理事長、日本空港ビルデング顧問)
副理事長	： 白澤照雄(JN協会事務局長)、岡村進(元小田急トラベル社長)、横山善太(元JALUX特別顧問)、大島慎子(筑波学院大学教授)、小竹直隆(元JTB専務)、須田寛(東海旅客鉄道相談役)
支部長	： 片山文彦(新宿)、魚住隆彰(北陸)、麗理沙(立教)、長尾亜夫(九州)、須田寛(中部)、岩田弘三(神戸)、坂本真一(北海道)、梅原利之(四国)、丸森仲吾(東北)、大田哲哉(中国)

【団体会員】(2011年3月25日現在)

AGC硝子建材エンジニアリング(株)、(株)朝日ネット、(有)青葉、(株)アドバン、(株)アドルックス、荒井建設(株)、アンデス電気(株)、安藤建設(株)、イーエムティー(株)、池田煖房工業(株)、(株)伊勢丹、富山県射水市、(株)井六園ワルト、岩田地崎建設(株)、(株)えんれいしゃ、(財)NHKインターナショナル、NPO「江戸城再建を目指す会」、(株)大林組、隠岐の島町(島根県)、(株)奥村組、小田急電鉄(株)、(株)小田急トラベル、鹿島建設(株)、鹿島道路(株)東京支店、大阪国際空港ターミナル(株)、(株)大塚食品、環境テクノス(株)、関西電力(株)、九城企業(株)、(株)九電工東京支店、九州電力(株)、九州旅客鉄道(株)、(株)キャンドゥ、(株)熊谷組、(株)グリーンキャブ、群馬県、京浜急行電鉄(株)、(株)耕人舎、佐川アドバンス(株)、(株)サマンサタバサジャパンリミテッド、三協立山アルミ(株)、三普旅行社有限公司、四国電力(株)、四国旅客鉄道(株)、清水建設(株)、(株)JAL-DFS、(株)JALUX、(株)JTB、消音技研(株)、新菱冷熱工業(株)、(株)センインターナショナル、常磐興産ピーシー(株)、住友電設(株)、(有)西洋館センター、竹内印刷(株)、(株)銭高組、全日本空輸(株)、パーキングプロ(株)、セントラルリーシングシステム(株)、(株)ダイエーコンサルタンツ、第一交通産業(株)、第一資材(株)、(株)大気社、大興物産(株)東京支店、大成建設(株)、大成サービス(株)、大成設備(株)大成ロテック(株)、大成ユーレック(株)、大鉄工業(株)北陸支店、大日産業(株)、(株)高商、高砂熱学工業(株)、(株)竹中工務店、(株)丹青社、中国電力(株)、中部電力(株)、TCTレーディング(株)、(株)哲建、電研工業(株)、東海旅客鉄道(株)、東急建設(株)、東京急行電鉄(株)、東京国立博物館、(財)東京観光財団、東京電力(株)、東光電気工事(株)、東芝エレベータ(株)、東北電力(株)、トーヨーカネツソリューションズ(株)、戸田建設(株)、名古屋鉄道(株)、西日本鉄道(株)、西日本旅客鉄道(株)、(株)西原衛生工業所、西松建設(株)、日墨ホテル投資(株)、日本オーチス・エレベータ(株)、(株)日本海コンサルタント、日本空港ビルデング(株)、(株)日本航空インターナショナル、(財)日本交通文化協会、(社)日本添乗サービス協会、(株)日本プラント建設、専門学校日本ホテルスクール、(株)ニューテック、ネスレ日本(株)、箱根町(神奈川県)、箱根建設(株)、東日本旅客鉄道(株)、(株)日立ビルシステム、(株)日立製作所、(株)ビッグウイング、広島電鉄(株)、福岡空港ビルディング(株)、(株)パロックジャパンリミテッド、(株)フィールドサービス、富士機材(株)、藤長電気(株)、富士通(株)、プラネットワークス(株)、北海道旅客鉄道(株)、北海道電力(株)、北陸電力(株)、北海道空港(株)、(株)ホテル小田急、(株)ホテルロバート、前田建設工業(株)、(株)ホテルマックス、マイナホールディングス(株)、(株)まるまんファイナール、三井住友建設(株)東京建築支店、三菱電機(株)、(株)山武ビルシステムカンパニー、有楽土地(株)、(株)USEN、横浜貨物総合(株)、横浜ビル建材(株)、(株)ランゲージネット、菱重輸送機エンジニアリング(株)、りんかい日産建設(株)

編集後記

巨大地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

大豆、小麦などの穀物やコーヒー、砂糖といった一次産品が高騰している。国連食糧農業機関（FAO）によると、砂糖は2002年から04年の平均価格に比べ4倍、大豆や小麦は2.5倍に高騰している。高騰の原因は、豪州の洪水など天候不順、経済成長を続ける新興国の都市化や食料需要の増加、投機マネーの流入によるものと見られる。今年のG20首脳会議（サミット）の議長を務めるフランスのサルコジ大統領は、6月にパリで農業大臣会議を開くことを提案し、食料価格の抑制策を協議する。農業先進国として知られるフランス、ドイツなどは、国内や欧州連合（EU）の共通農業政策によって域内農業を重視しており、フランスは小麦など基幹食糧の自給率が100%を大きく超えている。

日本は自給できるのは米だけ。しかも年間約6兆円の食料を輸入しており、アメリカ、豪州などの生産国の不作が続くと価格高騰や輸入削減など二重、三重の打撃を受ける。食料高騰は、観光に欠かせない食文化への影響も避けられない。かつて高橋是清蔵相は「農は国の基」と指摘したが、政府もこれを教訓に農業と食料政策の長期戦略を練り直すべきだ。

(白澤)

特定非営利活動法人(NPO)

人と都市・観光の地球時代を、市民が支えます

JAPAN NOW
観光情報協会

〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-58-13

小田急代々木ビル3F

電話 03(5304)9500

FAX 03(5304)5632

E-mail info@japannow.org

Home page http://www.japannow.org

発行人：白澤照雄(JN協会事務局長)

編集長：白澤照雄(JN協会事務局長)

発行部数：3000部 主な配布先：会員、中央官庁、

地方自治体、民間企業、マスコミなど